

雑固体廃棄物焼却設備の対応状況について

< 参 考 資 料 >
2016年11月8日
東京電力ホールディングス株式会社

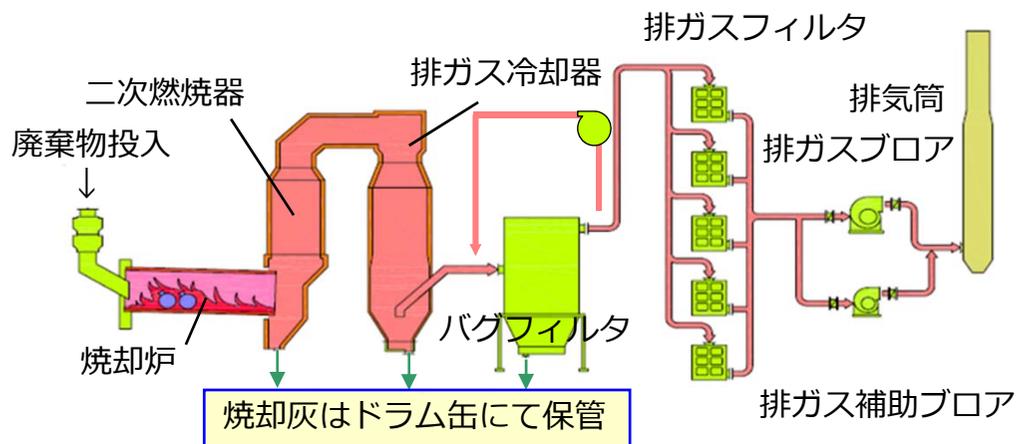
不具合により2016年8月10日より停止していた雑固体廃棄物焼却設備について、以下の対策が完了したことから、廃棄物焼却運転を再開する。

<対策概要>

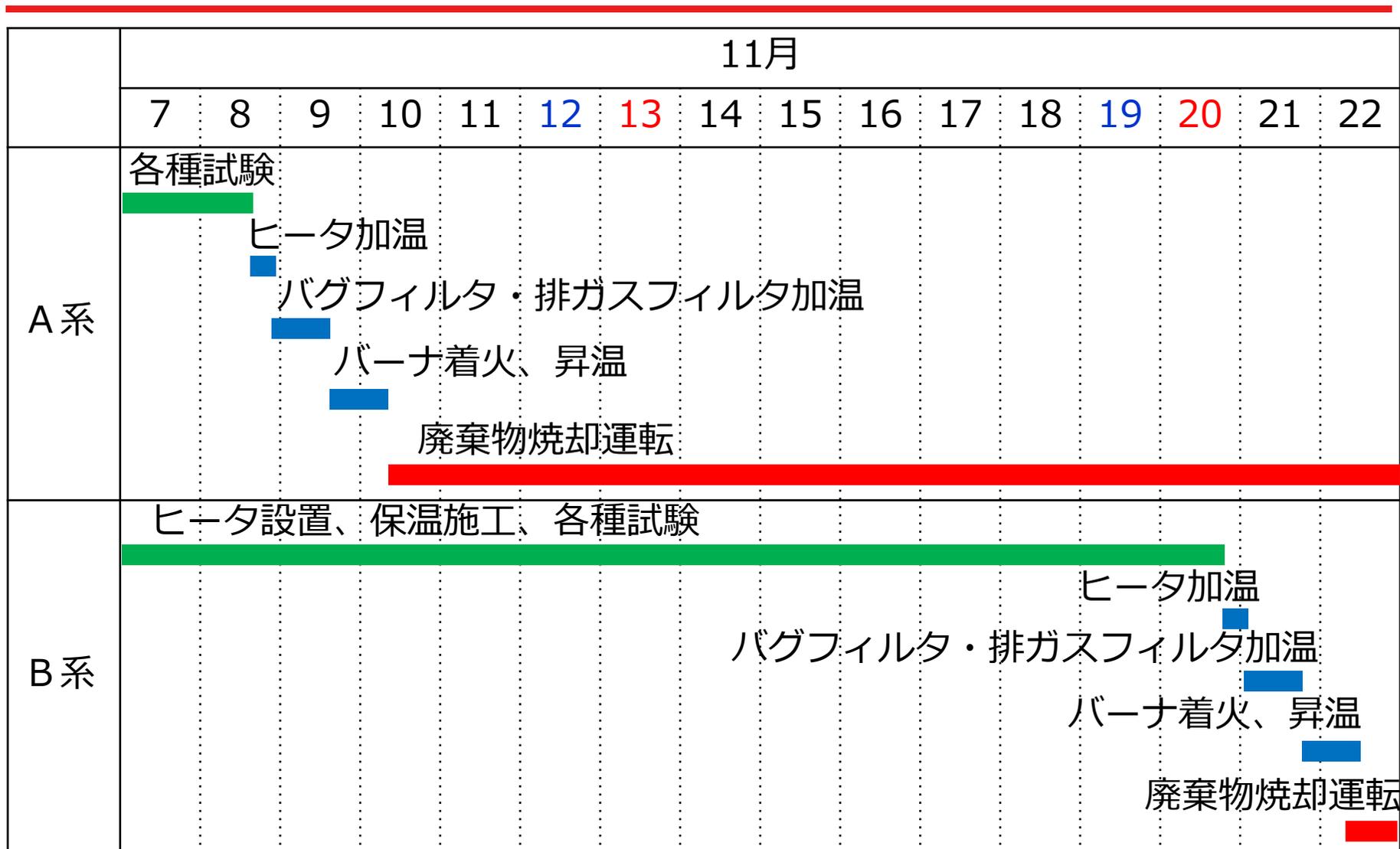
- ・凝縮水発生防止のため、**ヒータ設置及び保温施工**
- ・排ガス滞留防止のため、**排ガス補助ブローアの運転方法見直し**
- ・残留応力除去のため、伸縮継手ベローズ部**加工後の固溶加熱処理**の実施
- ・熱変位量の再評価を実施し、適用可能な仕様に変更
- ・耐食性を有する**材料（SUS316L）への変更**

<焼却運転開始までの流れ>

今回設置したヒータによる加温 → バグフィルタ及び排ガスフィルタの加温
→ 焼却炉バーナ着火、系統内昇温 → 廃棄物焼却運転開始



○スケジュール

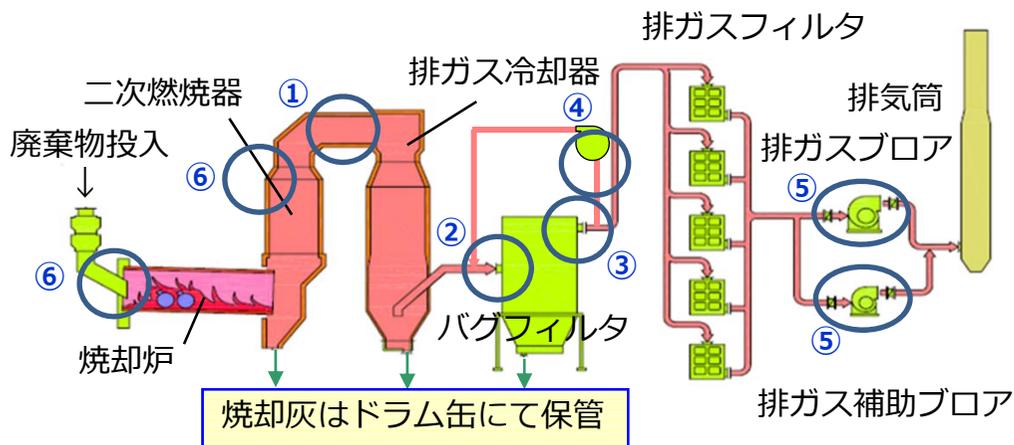


※ 工程は現時点の予定であり、運転確認や施工状況等に応じ、適宜調整を行う。

(参考)

- 2016年3月より運転開始している雑固体廃棄物焼却設備は、使用済保護衣（カバーオール）を中心に焼却運転を行っていた。
- 定期点検後の起動中、8/9に二次燃焼器と排ガス冷却器接続部の伸縮継手（B系）にピンホールが発見され、8/10に排ガス冷却器とバグフィルタ接続部の伸縮継手（A・B系）に割れが確認されたことから設備を停止した。調査の結果、それぞれ孔食、応力腐食割れによるものと推定された。
- 水平展開にて他機器の調査を行ったところ、他のステンレス製伸縮継手、小口径配管、機器ノズルにおいても、応力腐食割れが確認された他、煙道※内面の塗装剥離、腐食も確認された。

※煙道：排ガスが流れる配管



部位	事象
① 二次燃焼器・排ガス冷却器間の伸縮継手（B）	孔食（SUS316L）
② バグフィルタ入口部の伸縮継手（A・B）	応力腐食割れ（SUS304）
③ バグフィルタ出口部の伸縮継手（B）	応力腐食割れ（SUS304）
④ バグフィルタ出口温風循環ラインの伸縮継手（A・B）	応力腐食割れ（SUS304）
⑤ 排ガス補助ブロア前後の伸縮継手及び周辺の小口径配管（A・B）	応力腐食割れ（SUS304）
⑥ 二次燃焼器機器ノズル（A・B） 入口フード機器ノズル（B）	応力腐食割れ（SUS304）
- 煙道の一部（排ガス冷却器～排気筒）	塗装剥離・腐食（炭素鋼）